

我南小発 第28号

令和5年11月15日

我孫子市教育委員会 へ

我孫子市立布佐南小学校学校運営協議会

会長 志垣 健二郎

令和5年度 第3回学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定により、次のとおり報告します。

出席委員名 佐々木祐子, 山田恭生, 糸賀貴之, 志垣健二郎, 駒場アサ子, 川村 武, 新堀 都

記録者 氏名 山田 恭生

(令和5年11月15日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1. 校長挨拶	校長	○「心豊かで実践力のある子」の育成のために、「笑顔と活気でやってみよう」を合言葉に推進を進めている。先日の音楽フェスタ♪の児童の振り返りに「笑顔と活気でやってみようの1日になってよかったです。」という感想が書かれていたことから、児童の中に合言葉が浸透しているのがうれしい。地域の皆さんの協力をいただきながら学校教育を推進できることを心強く思う。本日は、学校運営に関する忌憚のないご意見を頂戴したい。
※授業参観後、協議会		
2. 会長挨拶	会長	○忌憚のない意見を願いたい。
3. 授業の感想	委員	○呼吸の感じられる授業だった。先生と子ども、子どもと子どもがとても楽しそうであった。1年生の授業は、子ども達の成長を感じた。2年生は、英語に意欲的に取り組んでいた。3年生の子ども達の声よかった。間違えてもいい、子ども達の声が聞けたのがよかった。4年生の体育は、段ボールなどの工夫が素晴らしかった。子ども達のとらえ方や声のかけ方も効果的だった。5年生も集中していた。6年生は、落ち着き

4. 協議等	委員	<p>を感じた。</p> <p>○低学年は元気であった。中学年以降になると、元気が活気になっていた。4年生が互いに声を掛け合い、尊重し合っていたところがよかった。5年生は授業にメリハリを感じた。6年生は、背中から風格を感じた。さすがの落ち着きであった。</p>
	委員	<p>○楽しそうな授業だった。子ども達の声がでていて活気があった。声というのは、授業に向かっていく声である。1年生は、自分の名前を教科書に自分で書いてよかった。4年生は、自分以外の友達を見る目が合っていた。6年生からは、最高学年としての風格を感じた。</p>
	会長	<p>○活気があった。一方通行ではなく、様々な意見がでてほしい。意見を出すことに対して遠慮がないような環境にしてほしい。</p>
	教頭	<p>○資料をもとに、今年度の実践を報告。今年度は、正に「笑顔と活気」「やってみよう」の年。地域の協力により、大きな前進を続けている。そのことに深く感謝したい。</p>
①地域と共に歩む学校作り実践報告	教務	<p>○資料をもとに、2学期以降の教育活動を報告。卒業式、修了式というゴールに向けて、子ども達の「笑顔と活気」のために職員一丸取り組む。</p>
②教育活動について	校長	<p>○資料をもとに、学校いじめ防止基本方針改定の要点を説明。</p> <p>○「未然防止、早期発見、早期対応、日常的な対応、重大事態への対応、保護者への説明、事後対応」などの観点から基本方針を精査した。</p>
③いじめ防止基本方針について	会長	<p>○いじめの対応は、学校だけではなく様々な機関で担えればよい。</p>
④いじめ防止基本方針について協議		

⑤学校評価について	委員	○小学校段階の教育が大切である。人格形成の大切な時期。未来ある子ども達の人格形成を担う大切な時期に関わる教員の仕事はやりがいがあると考えます。
	委員	○いじめの防止には、対話が大切である。授業の中で先生と子ども、子ども同士の対話を大切にしてほしい。認め合える環境作りをお願いしたい。
	委員	○いじめを防止するために、多様なあり方を認め合えるように個々を尊重し合えるように、低学年の内をお願いしたい。また、各学年で共有して行ってほしい。
	会長	○話す相手、友達、聞いてくれる人が大切である。聞いてやるだけで良い。聞いてもらえるだけで気持ちが楽になる。
	教頭	○学校評価について説明。今年度は、地域もアンケートをパソコンや携帯電話などでできるようにしたい。対象は、昨年度同様、学校運営協議委員に絞りたい。
	会長	○アンケートに答えるには、ある程度の知識が必要である。学校だよりの回覧などで、学校のことを更に周知していく工夫が必要か。
	委員	○アンケートの項目に、「どうすればよくなる」ということを書けるようになってるのが、とてもよい。今後、役に立つアンケートを願う。 ○この項目は本当に必要か？という観点で項目の精査を願いたい。
	校長	○アンケートを、委員の方のみに絞るか、地域に回覧などで広く周知するかについては、教頭と十分に協議した。広げすぎると、答えにくい人がいると考える。
	委員	○今年度、ボランティア等に参加してくださった方にもアンケートを依頼してみたい。
	委員	○学校に来たことのない人にアンケートをしても難しい。まずは、学校に関わってもらいわかってもらうことが大切。やっていることを知らない人もいる。そのような人向けに、アンケートに写真が挿入されるとわかりやすい。

5. 諸連絡・閉会	会長	○今年度は、コーディネーターが中心となって地域への依頼などを行った。今後は、そのような人脈を学校が主となって活用し、依頼を行えるようにするとよい。
	教頭	○それは難しい。今年度は、特に「やってみよう」の年であり、今年度はコーディネーターの力が不可欠であった。今後も、様々な面で協力をお願いしたい。
	委員	○人材バンク、参加者名簿など、学校と地域が一体となる基盤作りを進めていければよい。
	委員	○今後は、ボランティアに参加してくれた方々の感想を聞けるようにしてはどうか。アンケートとなると敷居が高い。でも、感想なら気軽に書けるのではないか。
	委員	○運営への運営協議委員の関わりを強めていきたい。そのためには、「地域ルーム」など、地域が意見を交換できる場を校内に作ってほしい。
	委員	○アンケート結果に対する、改善、対策が明確にならないといけない。見えるようにシンプルにしてほしい。
	会長	○検証のないまま次年度になってはいけない。検証をしてほしい。
	教頭	○検証はしていく。検証の結果もわかりやすく周知したい。今年度は、「やってみよう」の年で、地域と学校の連携が急速に推進された。そのことを、学校として実感するとともに、地域の皆さんへの感謝の気持ちが強くある。そのため、学校評価アンケートをとり、昨年度との比較をした時に、きっと改善したり肯定的に上昇している項目があると予想する。その部分を、成果として受け止めたい。
	校長	○本日は、多用中の参集に感謝したい。
	6 会食・解散 (給食を会食)	